和文演題名はこの行に記入してください

責任発表者（登壇者）に「○」を付けてください。

English title（英文演題名はこの行に記入してください）

○国際　一郎（こくさい　いちろう）１・国際　二郎１・国際　三郎２

（１■■大医学部皮膚科・２株式会社●●中央研究所）

責任発表者のみに

ふりがなを付けてください。

【目的】

　研究目的を記入してください。

【方法】

　研究対象、機材、課題、条件などを記入してください。

【結果】

　研究の結果を記入してください。

【考察】

　研究結果に対する考察を記入してください。

【まとめ】

　研究結果、考察、結論についてまとめを記入してください。

【参考文献】

　文中に引用した文献のリストを記載してください。

記載方法は次ページをご確認ください。

※指定のフォントの種類（和文は明朝体：英文はTimes New Roman）、

指定のサイズ（和英題名・氏名・所属は12ポイント、本文は10.5ポイント）

各々厳守してください。上記本文の行数・文字数執筆要綱内でご調節ください。

**参考文献**

1. 参考文献は重要なもののみにとどめ，本文中の引用する箇所に1），2），3）のよう上ツキの通し番号で示し，本文の最後に文献の見出しを付け，下の例に準じてまとめて記載すること。すでに引用した文献を繰り返す場合は引用する箇所に前出の番号を記すだけにする。

（雑誌掲載論文の場合）：著者名：題名．雑誌名（欧文名の場合はイタリック），巻：最初頁～最終頁，発行年．

（編書の場合） ：著者名：題名．書名（編集者名），引用巻，版数，発行所，同所在地，発行年，最初 頁～最終頁．

（単行本の場合） ：著者名：書名，発行所，同所在地，発行年，引用頁．

2. 参考文献の略し方は最近の日本化学総覧または Chemical Abstractsに準じること。

3. 複数著者の場合，筆頭著者のみ記載し、「ほか」「*et al.*」と記すこと。

4. 通しページの付いていない雑誌から引用する場 合は号数を（　）内に示すこと。

5. 参考文献転用の場合は明示すること。

6. 著者自身の未印刷の研究を引用する場合は，著者名，投稿誌名の後に「投稿中」または「in press」などとし，必ず題目を記載すること。

7. 英文の場合，和文誌名は英語でなくローマ字（例：Nippon Koshohin Gakkaishi）で記すこと。

〔例〕 1）岡田穣伸ほか：ヒト閉鎖貼布試 験に関する研究．日皮会誌，106: 421- 429, 1996.

2）高橋元次：皮表画像解析．現代皮膚科学 大系（石橋康正ほか編），年刊版，90-B, 中山書店，東京，1990, pp. 13-27.

3）Watanabe, H. *et al*., *Chem. Pharm. Bull.* 58(3), 312-317, 2010.

4）Olesen, E. A.: Embryology and Anatomy of the Hair Follicle, Disorders of Hair Growth, Diagnosis and Treatment, Mc-Graw-Hill, Inc., New York, 1994, pp. 1-19.

5）Bickers, D. R., et al.: The Porphyrias. In: *Dermatology in General Medicine*. （Fitzpatrick, T. B., et al. Eds.）, 3rd edition, McGraw Hill, Inc., New York, 1987, pp. 1666-1715.

（翻訳本の場合）

6）カール・ラーデンほか：制汗剤とデオドラント（大場健吉監訳），フレグランスジャーナル社，東京，1995, pp. 317-318.